

埼玉DX大賞審査基準表

評価項目	評価基準	評価点
1 取組の成果		
1-1 取組の成果と組織への影響	DXの取組が生産性向上や業務効率化、新製品・新サービスの開発などの成果を上げ、従業員満足度向上など組織全体にポジティブな影響を与えているか。 ◆成果については、その効果を取組前と取組後で可能な限り数値により比較し評価する。	20点
1-2 技術的な革新	新たなテクノロジーやデジタルツールを導入し、業界内での先駆的な取組であるか。	10点
1-3 事業モデルの革新	既存のビジネスモデルを転換し、新たな収益源や価値提供方法を開拓しているか。	10点
2 波及効果		
2-1 業界や市場への影響	業界や市場全体に影響を与え、他の事業者や顧客に対しても波及する可能性が高いか。	20点
2-2 持続可能性	取組が持続可能であり、当該取組の今後の発展や拡大していくことが期待できるか。	10点
3 社会的意義		
3-1 社会的課題への貢献	社会的課題や持続可能な開発目標などに対する積極的な貢献が評価できるか。	10点
3-2 ステークホルダーとの協力関係	事業者が顧客、従業員、パートナー、地域社会などのステークホルダーとの協力関係を築き、彼らの利益に配慮しているか。	10点
4 総合評価	事業全体を俯瞰した総合的な観点からの評価	10点
合計		100点

プレゼンテーション審査基準

評価項目	評価基準	評価点
5 分かりやすさ	プレゼンテーションや資料等が分かりやすく、説得力を増すものになっているか。	25点
6 ストーリー性	取組に至った経緯や課題を克服した事例、今後の展望などの内容が、他の事業者に対して訴求力を持ったものであるか。	25点
合計		50点

※ プレゼンテーション審査は、上表の審査基準及びプレゼンテーション審査基準により実施する。